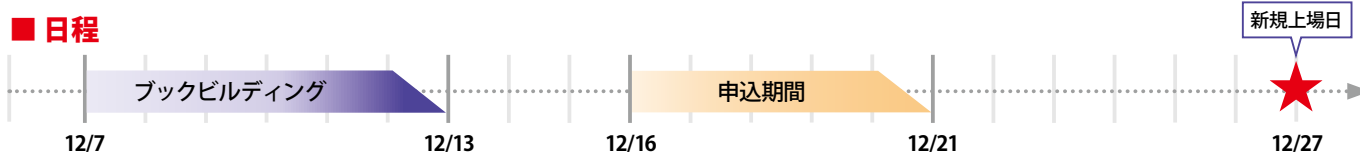


## IPO銘柄 ティビィシィ・スキヤット (3974・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3974	100 株	公募: 14.00 万株 売出: 8.00 万株 (OA3.00 万株)	1,300 円~ 1,400 円 (13.4 倍)	SMBC フレンド証券



### 美容サロン向けICT事業を核に、介護サービス等にも展開

#### ■ 事業内容

美容サロン向けICT (情報通信技術) 事業、中小企業向けビジネスサービス事業、介護サービス事業などを手掛ける。中核の美容サロン向けICT事業では、自社開発のPOSレジ顧客管理システム「Sacla (サクラ)」、美容ディーラー専用販売管理システム「i-SCAP EX」が主力製品。本社のある栃木県のほか、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の8拠点を展開する。美容室総合検索サイト「へあぼた」の運営や、中小企業ビジネスサービス事業で栃木県の中小企業を中心としたBPO (ビジネス・プロセス・アウトソーシング) サービス、人材サービス、ビジネスサービスも展開する。16年10月期第3四半期累計 (15年11月~ 16年7月) の売上高構成比は美容サロン向けICT事業が56.9%、中小企業向けビジネスサービス事業が17.6%、介護サービスが24.8%、その他が0.7%。

#### ■ 特徴

91年に中小企業向け人材サービス、会計サービスのティビィシィ、美容業界に特化したICTソリューションサービスのスキヤットと、その他関連4社が合併し、現在の形となった。06年には、介護サービスのTBCシルバーサービスを子会社化している。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

17年10月期の連結経常利益は前期比5.6%減の2億2,700万円を予想する。美容サロン向けICTビジネスにおける競争が激化しているほか、足元で中小企業向けビジネスサービスで地方自治体からの就職支援などの業務請負の採算が悪化している。

#### ■ 定性分析

美容サロン向けICTビジネスが主力で、ニッチ分野に特化した新興市場らしいモデルの企業と言える。一方で、栃木県に本社を置く地方企業であり、これは地方企業を嫌った過去の傾向から初値抑制の要因となる可能性がある。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は3.5億円と極小。ベンチャーキャピタル保有株もなく、需給面は非常に良好となっている。例年、年最後のIPO案件は余力を残さずに参戦できることから、初値を大きく伸ばす傾向がある。

(小泉健太)

#### ■ 類似企業

ティビィシィ・スキヤット (3974・JASDAQ)	予想PER13.4倍 (仮条件上限)
ビューティガレッジ (3180・東証1部)	予想PER20.6倍
アトラ (6029・東証1部)	予想PER22.8倍

#### ■ 引受証券

SMBC フレンド証券、SMBC 日興証券、SBI 証券、岡三証券、水戸証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年10月期(実績)	2,925	▲10.7	214	▲33.0	111	▲39.8	87.2	10.0
16年10月期(実績見込み)	2,866	▲2.0	241	12.5	144	29.6	113.3	15.0
17年10月期(会社予想)	2,852	▲0.5	227	▲5.6	145	0.5	104.2	15.0

※ 16年7月に株式分割(1株→4株)を実施。15年10月期のEPSおよび配当は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年10月期	455,000	3,021	1,420	200	1,114.3	47.0	13.8
15年10月期	455,000	2,962	1,519	200	1,191.4	51.3	7.6

※ 14年10月期、および15年10月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	齋藤 静枝	604,728	33.23
2	ティビィシィ・スキヤット	545,024	29.95
3	キャノンマーケティングジャパン	93,812	5.15
4	富国生命保険	68,000	3.74
5	安田 茂幸	40,520	2.23
6	東京海上日動火災保険	36,000	1.98
7	田中 秀幸	21,200	1.16
8	齋藤 武士	16,200	0.89
9	石塚 久美雄	13,200	0.73
10	齋藤 悦代	12,900	0.71

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役会長	齋藤 静枝
代表取締役社長	安田 茂幸
取締役副社長	長島 秀夫
常務取締役 経営管理本部長	古澤 誠一
常務取締役 営業本部長	吉川 公祐
取締役 ビジネスサービス事業部長	荒川 宏
取締役	高橋 晃
監査役(常勤)	菊田 清友
監査役	野村 富男
監査役	杉浦 芳幸
監査役	西尾 忍

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。